



25年度の事業報告書

25年9月1日から26年8月31日まで

法人名 特定非営利活動法人
きっかけづくりの会

1 事業の成果

ソフト面でのユニバーサル化を推進するため、それぞれの事業に取り組んでいる。活動を進める中で障害者自身が自ら出かけることにより、人とのふれあいや社会参加していることを実感し喜びや笑顔が溢れるなど得るものが大きいと改めて実感している。市民への理解を求めただけではなく、障害者や高齢者を知ってもらうことや誰もが出かけやすい環境作りを目的とした、それぞれの事業は産・官・学・民が一体となって行えるものとして情報を発信し一歩ずつではあるが協力者の尽力により前進を遂げている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額(単位:千円)
社会参加推進事業	ひとがやさしい街ひろしまプロジェクト事業はゆにばーさる君のイメーჯキヤラクターは「助けてほしいな」お手伝いしたいな」と思っ ていても、それを声に出すには勇気が要ります。[手伝って][手伝うよ]という勇気を表す。意志伝達の手段の一つとして「目に見えるもの」よって、積極的に社会参加できる環境に一歩近づける心の育成活動	・ 年間 ・ 広島市内 ・ 年間延べ数 6 35名	・ 市民 ・ 市民 ・ 全員	0円
新聞の発行	福祉情報誌「きっかけ新聞」の発行事業は福祉情報の共有し、障害者・高齢者に発信や市民の皆様が福祉環境の情報発信している。	・ 26年1月から 季刊し変更 ・ 広島市内 ・ 音訳ボランティア年間、延べ 120名 ・ 音訳ボランティア年間延べ数 24名	全国の会 員に 59 7名に福 祉情報を 発信と行 政、福祉施 設 300箇 所に配布 を行って	565千円

障害者及び高齢者の自立支援活動	当事者目録（車いす使用者）車いす介助マニユアルの作成事業は当事者目録の作成する事業を3年前から開催し、今年度で完成を目指す、来年度は継続できる体制のため講師の育成に力を入れる	<ul style="list-style-type: none"> 取材、編集など年間の延べ数 84名 配布ポランティア年間の延べ数 24名 年間延数 256名 	465千円
障害者及び高齢者の自立支援活動	福祉トータルコーディネーター事業は中国運輸局、国土交通省、広島社会福祉協議会等と連携し、福祉講演を行っている。障害者、高齢者の悩み事や福祉制度のカウンセラーを行っている	<ul style="list-style-type: none"> 広島市内 年間に6回の福祉講演を行う 参加人数：185名 開催地：広島市内 毎週：月曜日から金曜日 	0円
		合計	1030千円

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)
	無し		

(備考)

1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。

2 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。

25年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書
 25年9月1日 から 26年8月31日まで
 特定非営利活動法人きっかけづくりの会

科 目・摘 要	金 額	備 考
I 収入の部		
1 入会金・会費収入 会費 購読寄付 寄付 (施設会員含む)	965,000 364,000 2,103,240	
2 事業収入	0	
3 寄付金収入	0	
4 その他の事業会計からの繰り入れ	0	
当期収入合計(A) 前期繰越収支差額	3,432,240 130,000	0
収入合計(B)	3,562,240	
II 支出の部		
1 事業費 当業者目線の車いす介助マニュアル 福祉情報誌「きっかけ新聞」発行事業	465,800 565,320	
2 管理費 ・給料手当 ・交通費 ・通信費 ・消耗品費 ・水道光熱費 ・事務所賃料 ・車両費 ・図書費	0 223,690 356,543 149,459 1,320,000 185,000 36,428	
当期支出合計(C)	3,302,240	
当期収支差額(A) - (C)		130,000
次期繰越収支差額(B) - (C)		260,000

注1

注2

注3

用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いいたします。

にあつては「 」の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業

その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別業で作成してください。

事業会計収支計算書について、その他の事業会計から特定非営利活動に係る事業

繰出繰入が明らかになるような科目を追加し、経理する必要があります。

24年度 特定非営利活動に係る事業 貸借対照表
25年8月31日現在

科 目 ・ 摘 要	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	260,000	
現金	0	
普通預金		
未収入金	0	
未収会費	0	
○年度会費 ○名分		
流動資産合計	0	
2 固定資産		
土地	0	
建物	0	
什器備品		
パソコン		
福祉車両	350,000	
固定資産合計	610,000	
資産合計		610,000
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	0	
預り金	0	
流動負債合計	0	
2 固定負債		
長期借入金	0	
○○銀行○○支店	0	
退職給与引当金		
.....		
固定負債合計	0	
負債合計	0	
III 1 正味財産の部		
前期繰越正味財産		0
前期正味財産増減額		
正味財産増減額		
負債及び正味財産合計		610,000
正味財産		610,000

注1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いいたします。

注2 []の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別の用紙で作成してください。

25年度 営利活動に係る 会計 財産目録

26年8月31日現在

特定非営利活動法人きっかけづくりの会

科目・摘要	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	260,000	
現金手許有高	0	
普通預金	0	
未収入金	0	
未収会費	0	
○年度会費 ○名分		
流動資産合計		0
2 固定資産		
土地	0	
建物	0	
什器備品		
パソコン		
福祉車両	350,000	
固定資産合計		350,000
資産合計		610,000
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	0	
預り金	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
長期借入金	0	
○銀行○○支店	0	
退職給与引当金		
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		610,000

注1

用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いいたします。

注2

の部分は「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別の用紙で作成してください。